

【計画】6-2. 気候変動による水害リスクの評価

【分野: 自然災害・沿岸域、対象地域: 北九州市(九州・沖縄地域全域)】

■ 目的

- 近年、気候変動などの影響で集中豪雨が頻発する傾向で、住宅や農地などへ大きな被害が発生

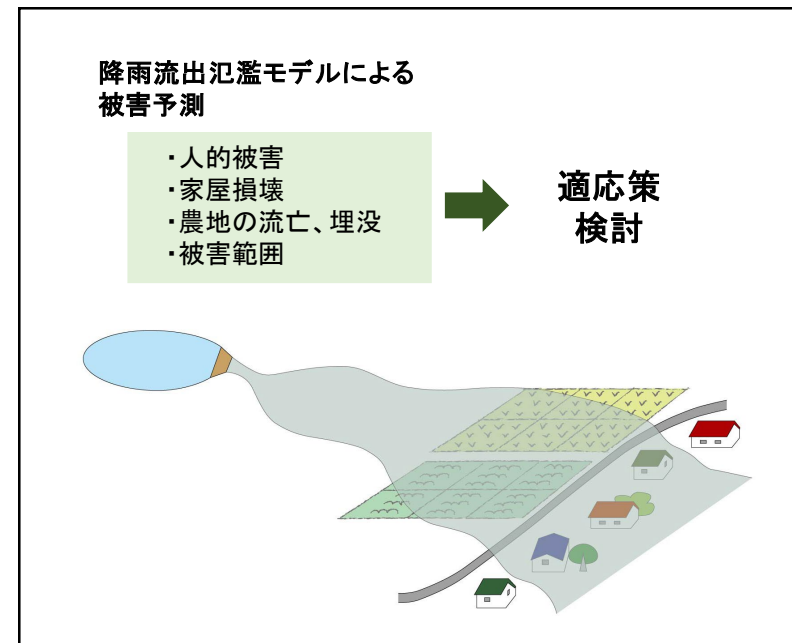
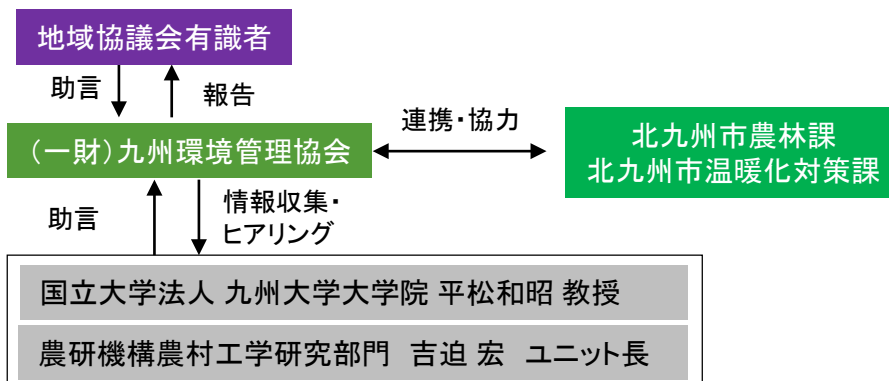


ため池の数が福岡県内で最も多く、ため池等の水害リスクが比較的多い北九州市をモデルとして、気候変動を踏まえたため池等の水害リスクの評価手法の検証及び適応策の検討

■ 調査計画

- 情報の収集・整理、GISデータ化、広域的な水害リスク解析(平成29年度)
- 簡易解析モデルを用いた水害リスク解析、適応策の検討(平成30年度)
- 降雨流出氾濫モデルによる被害予測・適応策の効果検証、水害リスク・適応策の周知方法等の検討(令和元年度)

■ 実施体制



影響評価のイメージ((一財)九州環境管理協会作成)